

令和元年(2019年)10月17日(木曜日)

印の学生ら源兵衛川視察

三島水辺の環境保全へ12人

インド北部のパンジヤブ州にあるチトカラ大建築学部(Chitkara University of Architecture)の学生と教員ら計12人が14日、三島市内を流れる源兵衛川などの水辺環境を視察した。

インドでは伝統的な「階段井戸」を文化遺産として守ろうとする動きがあり、同大と水環境の共同研究を計画している東京理科大の関係者も同行した。学生らは「水の都」とも言われる三島の清流を見て回ったほか、水

中に花を咲かせる天然記念物「ミシマバイカモ」の群生地も見学した。源兵衛川の歴史などについても、地元のNPO法人グラウンドワーク三島から説明を受けた。

ロペシユワリ・シンさん(21)は「三島は河川が住宅や風景とマッチし、人と水のつながりも強い。インドでも水をきれいにする習慣を根付かせていきたい」と話した。

一行は文部科学省の



ミシマバイカモの群生地を見学する学生ら(三島市)

「サクラサイエンスプロジェクト」の一環で来日した。